

2025年大阪万博開催が決定!

11月23日のBIE総会で誘致レースを勝ち抜く
大阪維新の会の提案から始まった大阪誘致が見事に実る

これが維新の実行力

テーマ **いのち輝く未来社会のデザイン**

[Designing Future Society for Our Lives]

開催期間：2025年5月3日(土)～11月3日(月)までの185日間

開催場所：夢洲(大阪湾の人工島)約155ha

入場者数：2,800万人(想定)

開催経費：会場建設費 1,250億円 運営費 820億円

パビリオンワールド



グリーンワールド

2025年大阪万博構想
パビリオン・ウォーター・グリーン
3つのエリアで構成



ウォーターワールド

BIE：パリにある博覧会国際事務局

イラストは経済産業省HPより



会場デザイン

会場内の5か所に「空(くう)」と呼ばれる大広間を設置。AR(拡張現実)やMR(複合現実)技術を活用した展示やイベントを行い来場者の交流の場となる。

経済波及効果 約2兆円

会場建設による投資、企業の出展などの運営に加えて、交通、宿泊、飲食、買い物などの消費支出などが相まって、経済波及効果は全国で約2兆円と試算されている。

会場構想「待ち時間ゼロ」の万博

会場内の移動時間等を活用した参加型実証実験を行うことで、体験あふれる環境を提供。IoT活用により、施設の空き状況を明確化し、会場を快適に巡ることができる。



「EXPOテーマ体験」プログラム

来場前にPeople's Living Labの特設サイト上のバーチャル会場に出迎えの演出。来場者へのオリエンテーションとガイダンスを通して、テーマやメッセージを映像や展示を中心に紹介。未来社会の共創の体験ができるプログラムを実施。



「10歳若返る万博」「健康になる万博」をめざす

ビッグプロジェクトとの連動



BIE総会の投票結果

立候補国(都市)	1回目の投票	決戦投票
日本(大阪)	85票	92票
ロシア(エカテリンブルク)	48票	61票
アゼルバイジャン(バクー)	23票	

大阪都構想 4特別区案で議論されています!!

経済効果額は 1兆円超と試算!

大阪府・大阪市が公募により選定した経済研究所が大阪都構想の歳出削減効果と経済効果を試算しました。

	行政の効率化による歳出削減効果	大阪府の産業などへの経済波及効果
特別区(大阪都構想)	1兆 1,409億円	1兆 1,511億円
総合区	712億円	853億円

※いずれも10年間の最大効果。詳しくは大阪府また大阪市のホームページをご覧ください。

日本で初めて開催される
世界規模の最も重要な国際会議

G20大阪サミットを成功させましょう!

日程 2019年6月28日(金)・29日(土)

会場 インテックス大阪(大阪市住之江区)

